

「次期あいち山村振興ビジョン（仮称）」中間案に係る御意見の概要と県の考え方

該当部分	御意見の概要	県の考え方
<p>第3章 重点的取組事項 《柱1》 安全安心で持続可能な地域社会づくり</p>	<p>奥三河山村部の次世代交通機関としてLPガス自動車普及の実証実験など、地域の活性化には地域交通の見直しが必要。</p>	<p>御意見については、担当局と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
<p>第3章 重点的取組事項 《柱2》 関係人口の創出・拡大と地元愛の醸成 《柱4》 地域資源のさらなる磨き上げ</p>	<p>子育て世代を対象に日常から解放された時間を体験できるプログラムを用意し、地域でもてなしを行うことで、子育て世代と地域のつながりをつくり、定期的な訪問を目指すとともに、移住の勧誘につなげる。</p>	<p>御意見のとおり三河山間地域には都市部とは異なる自然環境や文化などが数多くあるという特徴があります。</p> <p>こうした特徴を活かした着地型観光プログラムの充実を図るため、地域連携DMOである「一般社団法人奥三河観光協議会」への支援を行うなど、地域資源の一層の磨き上げに取り組んでまいります。</p> <p>また、地域住民の方との交流を促進することで、関係人口の創出・拡大に取り組んでまいります。</p>
<p>第3章 重点的取組事項 《柱4》 地域資源のさらなる磨き上げ</p>	<p>セントレアから入国するインバウンドに対して、まず奥三河を訪れてもらい、日本の生活文化、食文化などを学べる環境を三河各市町村が用意し、旅行、観光の中でプログラムの一環としてそれらの体験ができるよう、奥三河全体の地域資源を観光に結びつけ、地場産業化する。</p>	<p>外国人の方が三河山間地域を自由に旅行できるよう、愛知県多言語コールセンターの運営などにより、市町村や観光関係事業者等の取組を支援するとともに、新たな観光ブランド（okumikawAwake 等）を活用し、外国人の旅行者にも楽しんでいただけるコンテンツを整備してまいります。</p> <p>また、歴史や産業、自然、文化、祭りなど、三河山間地域ならではの地域資源を磨き上げるとともに、市町村境等を超えた連携・周遊の促進に取り組んでまいります。</p>

<p>第3章 重点的取組事項 《柱3》 なりわいを育てる</p>	<p>木材の価格の低迷は輸入材の増加などにより、建築材料としての国産材の利用が大幅に低下しているため、国産材の造材が進まない。</p>	<p>県では、県産木材の需要拡大に取り組むとともに、県産木材の生産量の増大に向け、スマート林業の推進や林道の整備、高性能林業機械の活用などに取り組んでまいります。</p>
<p>第3章 重点的取組事項 《柱3》 なりわいを育てる</p>	<p>林業に携わる人材の不足が、間伐や森林保護の遅れにつながり、また、林業家の高齢化による森林の担い手がなくなり、放置林が増えてくる。後継者のいない林業家の継続策を検討してほしい。</p>	<p>愛知県林業労働力確保支援センター等と連携して、森林・林業の魅力発信や林業への就業相談などを実施し、林業に携わる人材の確保・育成に取り組んでまいります。</p>
<p>第3章 重点的取組事項 《柱3》 なりわいを育てる</p>	<p>伐採する山の持ち主が不在、不明の山が多く残っているのも課題。</p>	<p>市町村に対して、地籍調査の実施や将来の地籍調査に向けて概ねの境界を調査・記録する効率的な手法導入推進基本調査の活用等の働きかけを行ってまいります。</p> <p>森林施業を実施するための不在村森林所有者との調整や森林境界の確認に対し、引き続き国の制度を活用した支援などに取り組んでまいります。</p>
<p>第3章 重点的取組事項 《柱3》 なりわいを育てる</p>	<p>ボランティア活動を行うに当たって、材の搬出事業が可能な民有地を確認できる紹介窓口がないので、行政等が、ボランティア団体に対して活動場所の照会、指導、育成を担う組織やマッチング制度を作ることが望ましい。</p> <p>また、ボランティア団体のネットワークの構築で共同作業及び研修を可能とする必要がある。</p>	<p>森林をフィールドとしたボランティア活動等の相談については、各農林水産事務所林務関係課が承っております。</p> <p>また、県では、企業やボランティア団体等の活動場所として、県有地の提供を行うとともに、あいち海上の森センターにおいて、森林・里山に関わる人材の育成と各種団体間の交流の場の提供などに取り組んでおります。</p>